

1 対象の概要と事業導入のねらい

下関市吉田地区は、古くから「なす・里芋・葉菜類の園芸産地」で、特になすは「吉田なす」として市場からの評価も高く、下関市を代表するブランド野菜として知られている。これらの農産物を共同出荷する農家で構成される吉田園芸組合婦人部会は、試食宣伝用の加工品づくりに取り組むうちに、市場出荷できない農産物を利用した加工事業を志すようになった。令和元年6月に、婦人部会等の有志が中心になって吉田地区内の希望者を募って「里山工房よっちゃん」を発足させるとともに、貞恒農産物加工所を利用して、なすや里芋、米・もち米などを使用した加工品の製造・販売を開始した。

女性が働いて楽しく、我が家の農業と両立可能な加工事業の経営確立を目指すために、事業を導入した。

2 具体的な取組内容

(1) 売上実績の整理

- 品目及び売り先別の売上を数値及びグラフ化することにより売上実績の見える化を進め、製造・販売計画に反映させた。

(2) 製造面の検証

- 品目別経営収支実態（製造原価、製品量目、価格設定等）を整理し、問題点の洗い出しや改善策の検討を行い、価格改定や原材料の確保等を行った。
- 鏡餅の研修を実施し正月向けの新たな商品づくりを行った。

(3) 販売面の検証

- 売上実績をもとに、売り先ごとのターゲットや販売品目・時期等を明確にした。
- 販路拡大に向け新たな販売先の情報収集と営業活動を実施した。

(4) 運営面の検証

- 製造と商品配送等の作業シフトの実態を整理し、働きやすい環境づくりを進めた。
- 決算、財務に関する研修会を実施し、財務やマーケティング等の経営に関する知識や技術の向上を図った。

(5) 中期経営計画（5年ビジョン）の策定

- 製造、販売、運営面の現状整理を行い、問題点や将来像等を話し合いながら、中期経営計画(案)を作成し、中小企業診断士から計画(案)に対する助言を得て策定した。

3 取組の成果

なすからし漬けや餅製品を主力として製造・販売を行いながら、新たな商品開発も進めるとともに、税務やマーケティング研修等の経営に関する知識や技術向上にも力を入れ、「人格なき社団」としての適切な管理・運営を行っている。

また、販路開拓も積極的に行い、売り先も増加するなど、販売額も徐々に増加している。それに伴い、構成員の従事手当も上げることができた。

今後は、中期経営計画に基づき出来る事を一つずつ実践し、安定した経営を目指す。



【なすからし漬けの製造の様子】



【東行庵での販売の様子】